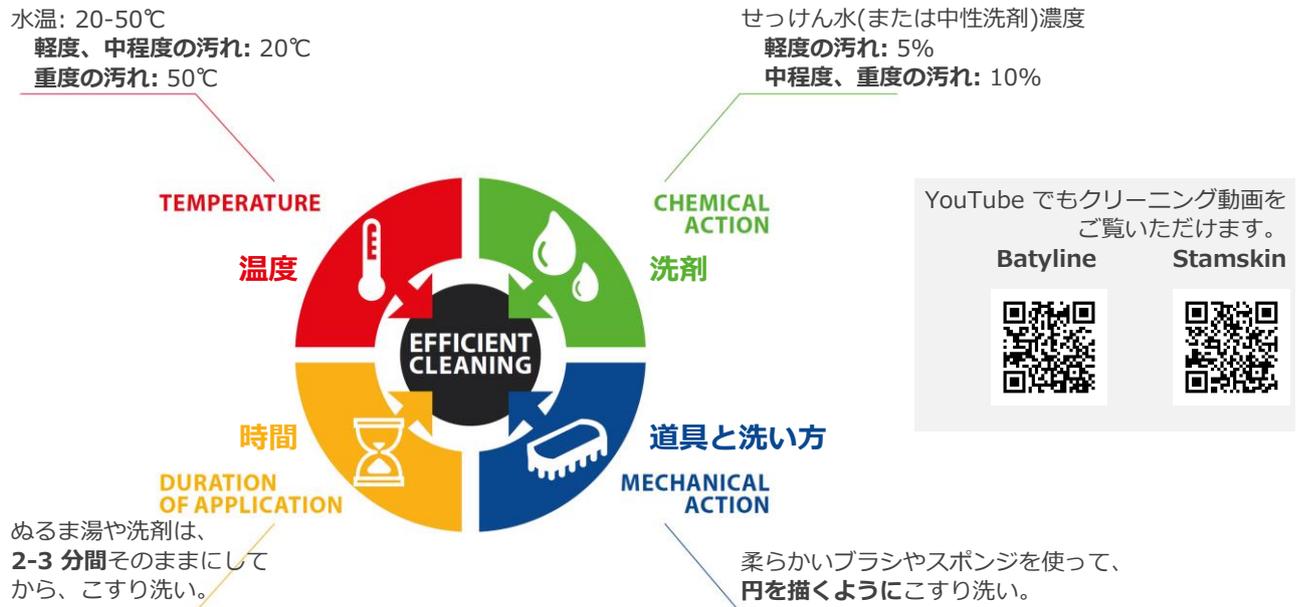


■ クリーニングの手順

お手入れは、ファブリックは広げた状態で行います。

- 1) 表面のほこりを取る** 掃除機やブラシを使って、ファブリック表面のほこりを取り除きます。
- 2) 洗淨する** 柔らかいブラシやスポンジと石けん水(または中性洗剤)を使って洗淨します。水温、洗剤濃度は下表を参考にしてください。効果的なクリーニングに欠かせないのは、下表に挙げる 4 つの要素を上手く組み合わせることです。



- 3) よくすすぐ** きれいな水で十分に洗い流してください。(スプレーではなく流水)
- 4) ファブリックを乾かす** 風通しの良い場所でファブリックを広げた状態で乾かします。

*汚れが強い場合は、2)~3) の手順を繰り返し行います。

**石けん水ではなく、市販の中性洗剤を使用する場合は、目立たない所で試してから使用してください。

■ 禁止事項 – 使用しない洗剤や薬品など

溶剤や研磨を使ったクリーニングはファブリックを損ないます。使用しないでください。

【研磨】研磨剤および研磨剤入りの洗剤、研磨スポンジ、高圧洗淨(例:ケルヒヤー社)など。

【有機化学薬品】アセトン、ガソリン、ベンゼン、燃料油、灯油、パークロレン、テレピン、トルエン、トリクロロエチレン、石油、テトラヒドロフラン (THF)、酢酸エチル、過酸化水素など。

【無機化学製品】アンモニア、硝酸、硫酸、酢酸、塩酸、ソーダ、苛性ソーダ、漂白剤など。

※個別の薬剤や化学物質が無害であっても、温度や濃度などを含む複数の要素が悪い結果を招くことがあります。

■ 注意事項 – 取れにくい汚れ、個別製品についての情報など

- ・油脂、タール、樹脂、花粉、鳥の糞、昆虫の死骸などによる汚れは、時間とともに通常のクリーニング手順では除去することが難しくなります。見つけ次第、取り除くようにしてください。
- ・Batyline ファブリックをクッションとして使用している場合、中身を取り出してファブリックのクリーニングを行います。取り出せない場合は、洗濯機を使う事ができますが、「最高40℃まで、標準モード」を推奨します。
- ・Batylin EDEN ファブリックにブラシをかける際は、表面をよく見て、細い糸が走っている方向にブラシをかけます。細い糸と直角方向にブラシを当てて、糸を切らないように配慮することができます。